



米原海岸の概要

- ・良好なサンゴ礁が広がる国立公園海域公園地区（2007年8月指定）
- ・アクセスが良く、手軽にスノーケリングや海水浴を楽しめる海岸
- ・約40万人が訪れる観光地



モデル事業の経過

- ・ H28 関係機関・事業者への聞き取り
米原海岸利用ルール作り検討会開催
- ・ H29 住民意見交換会
米原海岸利用ルール作り準備協議会設立
- ・ H30 行政部会・安全部会・利用部会の開催
米原海岸利用ルール作り準備協議会（2回）
⇒利用ルール案のとりまとめ
ルールの運用体制はキャンプ場との連携を軸に継続して検討

今年度の取組

- 【内容】 利用ルールの試験運用
試験運用を踏まえてのルールの検討
運用体制の検討

- 【経過】
- ・ 7月8日 準備協議会打合せ・住民説明会
 - ・ 7月13日 利用ルールの試験運用開始

利用者への周知活動及びアンケート調査
（7月～9月で合計6回）

- ・ 10月31日 第1回準備協議会

利用ルールの周知に関する対応

○周知の強化

- ・周知が行き届いていないことから、以下の対応を予定

島民：広報への折り込み、全学校への配布

観光客：観光情報誌への掲載

タクシー車内の掲示

宿泊施設での周知



○外国人への周知

- ・3か国語版(英中韓)は日本語版に入れたQRコードから見てもらうようにしたが、周知が行き届かず
- ・来年度は米原海岸を中心にポスターを掲示

利用ルールの運用に関する対応

○キャンプ場管理者との連携

- ・R2年度からのキャンプ場管理区域が砂浜の一部を含む予定
- ・キャンプ場の運用とルールの整合を図ることを協議会で確認
- ・指定管理者が決まれば、協議会に参画いただき、ルールの周知の連携等を調整



現行の管理区域



来年度からの管理区域

○利用者負担の仕組み

- ・方法等を整理し、次回協議会で意見交換を予定

参考：米原の白化現象



上：9月17日撮影
↓
下：10月2日撮影
(Jellyfish提供)

参考：米原の白化現象

- ・台風18号が9月30日に最接近した後の10月上旬に確認
- ・気象庁のデータでは9月28日と30日に高い降水量を記録
- ・9月29日が新月で、大雨と大潮が重なった



- ⇒干潮時に閉鎖的な環境となった礁池内に大量の淡水が流れ込み、淡水の状態が数日続いたことにより白化したと考えられる
- ※現時点で一部回復も確認されている